BoviLab血液分析装置

BA−100A

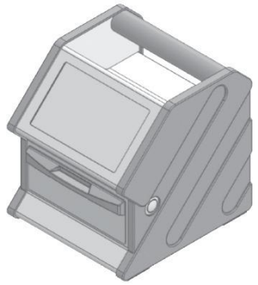
簡易取扱説明書

一般医療機器
臨床化学分析装置

Ver1.3

動物用医療機器届出番号：6動薬第3225号

NS Materials
I.B Co., Ltd.



● ご使用の前に本書や取扱説明書を必ずお読みいただき、いつでも確認できるように大切に保管してください。
● ご使用前に、以下のページでユーザー登録をしてください。ユーザー登録後、製品の保証について確認できます。
● ユーザー登録：https://bovilab.ib-holdings.com/register-device
より詳しい製品情報や取扱説明書は、以下のページで確認できます。
サポートページ：https://ib-holdings.com/bovilab-support/

※本書のイラストや画面は例であり、実際の表示とは異なる場合があります。デザインや製品仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

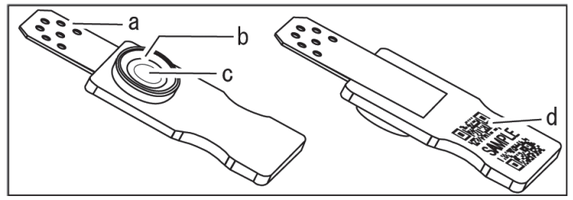
試薬スライドの準備

測定に使用する試薬スライドを準備します。注意事項をよく読んで取組んでください。
正確な測定結果を得るために、試薬スライドは正しく取扱ってください。

⚠警告

試薬スライドや検体を扱う場合は、汚染や感染を防ぐため必ず使い捨ての手袋を着用してください。

参考
■ 試薬スライドは別売品です。購入については「4.お問い合わせ」をご覧ください。
■ 試薬スライドの仕様について詳しくは、以下のURLをご覧ください。
https://ib-holdings.com/bovilab-support/



a）反応部：試薬と検体を反応させる部分
b）ガイドライン：検体量の目安になるライン
c）ガラスろ紙
d）QRコードのラベル

適量	検体量不足	検体量過剰・滴下不良

■ 適正な検体量は、150 μL です。
ガイドライン内に滴下してください。
■ 適量の目安として、左図を参考にしてください。
■ 血清や血漿検体も使用できます。冷蔵または冷凍保存されていた検体を使用する場合は、室温に戻したあと必ず転倒混和してください。

1. 試薬スライドの入ったアルミ袋を常温に戻します。
冷えたままアルミ袋から試薬スライドを取出すと、結露が発生し、正しく測定結果が得られない場合があります。
アルミ袋に破損がある場合は、使用しないで下さい。

2. アルミ袋から試薬スライドを取出します。
アルミ袋から取出したあとは、以下の点に注意してください。
・試薬スライドは、紫外線等によって劣化します。速やかに測定に使用してください。
・一度アルミ袋から取り出した試薬スライドは、保管して再利用することはできません。
・試薬スライドの検体滴下部分やQRコードのラベルを直接手で触れたり、汚損しないようにしてください。

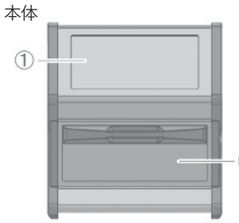
3. 試薬スライドに検体を滴下します。
検体を滴下して5 秒ほど待ち、検体が適量かどうかを確認してください。

4. 本装置のドアを開けて、試薬スライドをスライド挿入口に挿入します。
試薬スライド挿入後は、必ずドアを閉じてください。

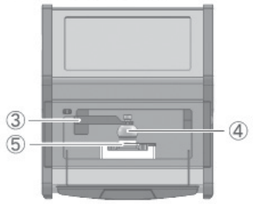
5. 測定終了後、本装置から試薬スライドを取除きます。
試薬スライドを廃棄する場合は、感染の危険性等を考慮し、地域の規則に従って各施設の責任のもと焼却、溶融、滅菌、消毒等の処理をして下さい。

お使いになる前に

本体



本体（ドアが開いた状態）



①タッチパネルLCD
②ドア
③プランジャーアーム
④プランジャー
⑤スライド挿入口

製品仕様

名称	BoviLab血液分析装置
起動	起動ボタンを押したあと、2分程度（推奨環境時）
測定時間	構成項目の測定時間 ＋1分
同時測定項目	最大6項目
格納データ数	合計 1,000件
電源	DC12V / 24V（36W） DCジャック入力
大きさ	150 mm（幅）×168.7 mm（奥行）×168.8 mm（高さ）重量：2.2 kg

ご購入後、箱の中身が以下に記載されている内容と一致していることを確認してください。同梱物に不足や破損がある場合は、販売店にお問い合わせください。

■ 同梱物
・BoviLab血液分析装置（本体） × 1
・ACアダプタ × 1
・プランジャー（予備） × 1
・簡易取扱説明書（本書） × 1
・専用ケース × 1

■ 別売品
・試薬スライド
・プランジャー *
・拡散板 *
・拡散板ホルダー *

*同梱物として本装置に装備しておりますが、破損時の交換や予備として追加で購入できます。

1. 安全にお使いいただくために

本章は、本装置を安全に正しく使用していただくための注意事項を記載しています。

本装置を使用する前に、以下の注意事項を読み、理解してください。

● 本装置は、動物の血液を分析することを意図しています。
● 本装置での分析は、専用の試薬スライドを使用して実施します。その他のスライドは使用できません。試薬スライドは別売品です。購入については、「4.お問合わせ」をごらんください。
● 本装置は、獣医および獣医の指導を受けた作業者が使用することができます。
● 本装置は動物用の測定装置です。人の測定・各種診断・治療用としては使用できません。
● 本装置は、屋内で使用してください。雨天時や直射日光下などでの使用はしないでください。
下記の使用環境および保管環境の条件を守って使用してください。

使用環境	温度：−10℃ ～ 40℃ （5℃ ～ 32℃：測定精度が保証される温度範囲） 湿度：20% RH ～ 80%RH（結露なきこと） 高度：2000m以下
保存環境	温度：−20℃ ～ 40℃ 湿度：5%RH ～ 90%RH（結露なきこと）

回避しないと、生じる危害の程度を以下の絵表示で示しています。

⚠警告	回避しないと、死亡または重傷を負うおそれがある内容です。
⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度のけがを負うおそれがある内容です。

安全に関わる図記号

☣	検体による感染の恐れがあることを示します。

⚠警告　装置・測定について

■ **測定を実施するときは、必ず使い捨て手袋を着用する。**検体による感染のおそれがあります。
■ **本装置の分解・改造・修理を行わない。**感電・発煙・発火の原因になります。
■ **濡れた手でACアダプタを触らない。**感電の原因になります。
■ **同梱されているACアダプタ以外は使用しない。**本装置の発煙・発火の原因になります。
■ **本装置のUSBポートで充電しない。**故障・発煙・発火の原因になります。
■ **以下の場合は、本装置の電源をOFFにし、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く。**発煙・発火の原因になります。
・本装置が異常に発熱している
・本装置が正常に動作しない
■ **ほこりが多い場所では使用しない。**発煙・発火の原因になります。
■ **使用するときは、水平な場所に設置する。**落下の衝撃により、装置の故障・発煙・発火の原因になります。
■ **持ち運ぶときは、必ず専用のケースに梱包する。**落下の衝撃により、装置の故障・発煙・発火の原因になります。

⚠注意　装置・測定について

■ **指定された使用環境以外では使用しない。**
誤動作による誤測定の原因になります。
■ **製品に異常（変形や腐食）がある場合は使用しない。**
誤動作による誤測定の原因になります。
■ **直接水がかかる場所や、水気のある場所で使用しない。**
故障や誤動作の原因になります。
■ **製品が破損した場合は使用しない。**
手を切りケガをする原因になります。
■ **プランジャーの動作中に、本装置のドアを開けて手を入れない。**
指をはさみケガをする原因になります。
■ **本装置のドアを開けて、LEDの光を直視しない。**
視力へ影響を生じる原因になります。
■ **測定前、測定後は必ず定期清掃を行う。**
誤測定の原因になります。
■ **本装置を清掃するときは、ベンゼンやアセトンなどの腐食性の高い薬剤は使用しない。**
故障の原因になります。

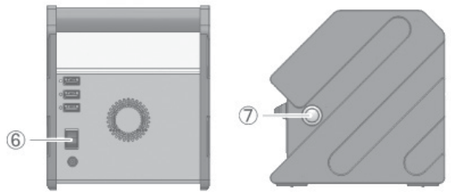
⚠警告　検体・試薬スライドについて

■ 検体を取り扱うときは、汚染や感染を防ぐため、必ず使い捨ての手袋を着用すること。
■ 口によるピペッティングは行わないこと。
■ 検体に接触した部品等は、検体と同様に感染の危険性のあるものとして注意して取扱うこと。
■ 汚染や感染を防ぐため、試薬スライドの検体滴下部および反応部は直接手でふれないこと。必ず使い捨ての手袋を着用すること。
■ 試薬スライドを廃棄する場合は、感染の危険性等を考慮し、地域の規則に従うこと。各施設の責任のもと、焼却、溶融、滅菌、消毒等の処理をすること。

2. 測定をはじめる（基本）

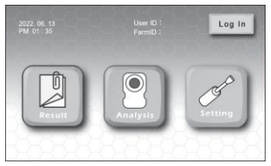
Step1 電源を入れる

1. 本装置背面の主電源スイッチ⑥をONにしたあと、側面の起動ボタン⑦を押します。



2. タッチパネルLCDに初期画面が表示され、約1分後起動画面に切替わります。

3. システムの起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。



●こんなこともできます
測定データの検索や管理をしやすくする場合は、［Log in］してから測定することをおすすめします。
詳しくは、本書「ログインして測定する」をごらんください。

Step2 COW IDを入れる

4. ホーム画面の［Analysis］を押します。
本装置内の温度に問題がある場合は、エラーメッセージが表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

5. ［Cow ID］入力欄を押します。
Cow IDを入力せずに測定する場合は、Cow ID入力欄は空欄のまま STEP3に進んでください。

＊メッセージ表示部

6. ［Cow ID］を入力します。
Cow ID は半角16 文字まで入力できます。
テンキーまたはキーボードに切替えて入力できます。

Step3 測定する

⚠警告

検体による感染のおそれがあります。必ず使い捨ての手袋を着用しください。

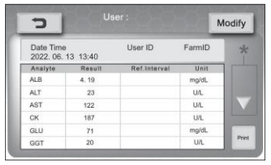
7. 本装置に試薬スライドを挿入し、ドアを閉じます。
ドアを閉じると、試薬スライドのQR情報の読取りを開始します。
試薬スライドの取扱いについては、本書の「試薬スライドの準備」をごらんください。

8. ［Start］が緑色に切替わります。
[Start]が灰色から緑色に切替わらない場合は、以下の原因が考えられます。
・測定済みの試薬スライドが挿入されている
・試薬スライドの位置が正しくない
・試薬スライドのQR情報が読取れない

＊メッセージ表示部

9. ［Start］を押して、測定を開始します。

10. 測定中の画面で［Result］を押すと、過去の測定結果が表示されます。



11. 測定が完了すると、［Result］画面が表示されます。
＊測定結果の項目数によって表示が異なります。

12. 測定を終了する場合は、[Finish] を押します。
続けて測定を行う場合は、[Next]を押します。
測定後、必ず試薬スライドを取除き、正しい方法で廃棄してください。

Step4 測定結果の確認

ホーム画面の[Result] を押すと、測定結果が一覧で表示されます。

●測定結果の表示
測定結果は、条件を指定して検索や表示する項目の編集、削除などができます。
また、User IDのパスワードの有無によって閲覧が制限される場合があります。

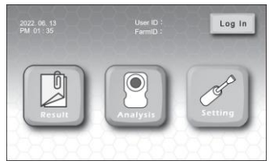
3. こんな使い方もできます（応用）

ログインして測定する

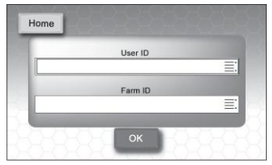
本装置は、Use ID やFarm ID を設定して測定できます。
IDを設定することで、測定後のデータ管理や検索がしやすくなります。

参考
この操作は、事前にIDの登録が必要です。登録方法について詳しくは、取扱説明書の「IDの管理」をごらんください。

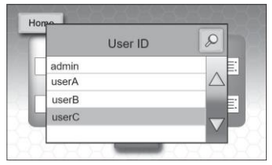
1. ホーム画面の［Log in］を押します。



2. ［User ID] 欄を押して、一覧から使用するUser ID を選択します。

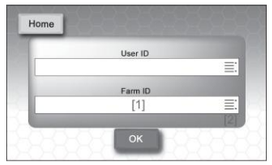


3. 選択したUser IDが青くマークされたら、再度User IDを押して決定します。
「🔍」のマークを押すと、使用する ID を入力して検索できます。大文字と小文字を区別して検索するため、IDは正しく入力してください。

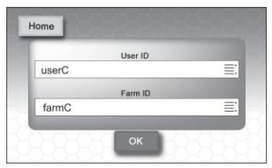


4. User ID にパスワードが設定されている場合は、[Enter Password] 画面でパスワードを入力し、[OK] を押します。
パスワードを設定して測定した場合、測定データの閲覧者を制限することができます。

5. [Farm ID]欄の[1]または[2]を押します。
[1]：任意のFarm IDを入力します。
半角で16文字まで入力できます。
[2]：登録済みのFarm IDが一覧で表示されるので、使用するFarm IDを選択します。手順2、手順3と同様に設定します。



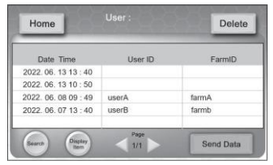
6. [OK] を押します。



7. ログインが完了すると、ホーム画面に戻ります。

ID管理の活用

本装置は、User ID やFarm ID を登録することができます。ID を活用することでデータの管理や検索を効率化します。



●測定結果の検索
［Search］：測定結果を検索できます。
検索に使用できる条件は、User ID、Cow ID、試薬スライド情報、Farm ID、日付の５つです。

●測定結果の編集
測定後、結果情報のUser ID、Farm ID、Cow ID を編集できます。

●測定結果の表示項目を選択する
［Display Item］：測定結果として画面に表示する項目を選択できます。

通信機能の活用

本装置は、外部機器を接続することで通信機能を使用できます。
測定データの管理やプリンターと接続して印字ができます。

4. お問合わせ

製品に関するお問合わせ

修理や交換、別売品の購入についてご相談ください。

製造販売元

NSマテリアルズ株式会社
：福岡県筑紫野市山家540-10
動物用医療機器製造販売業
3製販療 III 第80010号

販売元

株式会社アイビー
：東京都中央区銀座1-14-10
：03-6635-6037
：https://ib-holdings.com/bovilab-support/
※通信料はお客様のご負担となります。